

(リスクアセスメント) 後 尾 警 戒 作 業 手 順 書

会社名	中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋(株)	主な設備、仕様機械	主な使用工具、器具	安全設備、保護具		使用材料		
作成日	令和8年3月26日	標識車		ヘルメット、手袋、安全靴、自発光チョッキ からまんでーW(黄旗)、しらすんだー受信機 レッドホーンW(赤色棒)、消火器、発煙筒		規制材一式		
改訂日								
作成者	柘植							
必要資格等	運転免許(普通、準中型)、職長教育講習			作業人員	2 名		その他	一宮道路管制センター 0586-76-1131
備考								

作 業 工 程	No	単位作業 と その主な手順	危険有害要因(予測される災害・事故) (品質、トラブルも含む)	危険要因			危 険 有 害 要 因 低 減 対 策	誰 が	対策後			【 留 意 事 項 参 考 図 案 】	
				可 能 性	重 大 性	評 価		点検・確認	可 能 性	重 大 性	評 価		
準備工		作業前ミーティング											
	1	作業打合せをする(危険予知活動)	現場、施工方法等について十分な知識を有していない	2	2	4	規制協議書(規制図)の確認をする	全員	1	2	2		・ながら運転をしないように ・前方車両との距離は、30m程度とする
	2	作業責任者の確認をする	作業員同士の意思疎通が行われていない	2	1	2	作業分担、配置、使用車両の確認をする	全員	1	1	1		
	3	車両の点検をする	車両の不具合がおきる	2	2	4	車両点検をする(回転灯の作動も含む)	全員	1	2	2		
			荷物が飛散して事故がおきる	2	2	4	荷台に養生ネットを施し、規制材は、ロープ等で固定する	全員	1	1	1		
			スベアタイヤが落下して事故がおきる	2	2	4	落下防止対策を確実にする	全員	1	2	2		
	4	内ブラで点灯表示内容の確認	点灯表示内容を間違える	1	2	2	確実に表示されているか自分の目で確認する	全員	1	1	1		
	5	電装機器の確認をする	電装機器(からまんでーW・しらすんだー)が正常に動かない	2	2	4	電装機器の交換、電池等を入れ替える	全員	1	2	2		
	6	規制形態の確認をする	協議書通りの規制でない	1	1	1	規制協議書(警察協議)の規制図を確認する	全員	1	1	1		
	7	夜間作業においては、灯具類の確認をする	自発光チョッキ、規制灯具類(光り物)の球切れがある	2	2	4	配線、電池の確認をする。または交換する	全員	1	2	2		
移動		現場への移動										・停車時、ハンドル切り・輪止めも確実に行う	
	1	交通ルールを守り運転する	人身、物損事故	3	3	9	法定速度、十分な車間距離の確保	運転手、助手	1	2	2		
	2	高速道路に入る前にプレート区間の確認	プレート区間外使用、不正使用	2	1	2	通用区間、プレート、車番を確認する	運転手、助手	1	1	1		
本作業		後尾警戒作業											
	1	無線または電話で一宮管制へ開局	開局連絡を忘れる(一宮管制・メンテ)	2	1	2	確実に連絡する	職長	1	1	1		
	2	配置位置到着後、後方に矢印板を設置する	車両降車時、通行車両と接触する	2	3	6	車両通行側と原則反対側で降車を行う	全員	1	2	2		
			通行車両と作業員が接触する	2	3	6	上流監視員を配置し、注意喚起を行う	全員	1	2	2		
	3	後尾警戒を行う	表示内容を誤る	2	2	4	誤表示がないか確認する	全員	1	1	1		
	4	規制材の撤去	撤去忘れによる事故発生の恐れ	1	3	3	規制材回収後、全員で再度、規制材の確認をする	全員	1	1	1		
	5	無線または電話で一宮管制へ閉局	閉局連絡を忘れる(一宮管制・メンテ)	2	1	2	確実に連絡する	職長	1	1	1		
移動		現場離脱											
	1	規制機材の落下	規制材が荷台から落下し、二次災害が発生する	2	3	6	運航前にシート、ネット掛け養生を確実に行う	全員	1	2	2		
	2	交通ルールを守り運転する	人身、物損事故	3	3	9	周囲確認をして運転する	運転手、助手	1	2	2		
	3	高速道路に入る前にプレート区間の確認	プレート区間外使用、不正使用	2	1	2	車番、通行区間を二人以上で確認する	運転手、助手	1	1	1		